

看護学専攻

修士課程

- 修士論文コース
- 高度実践看護師コース
- 保健師コース

〈修業年限〉2年 〈学位〉修士(看護学) 〈入学定員〉14名

修士論文コース

ディプロマ・ポリシー

- ・キリスト教の人間観を基盤に看護の理念に基づく倫理観をもって、実践・管理・教育・研究ができる。
- ・専門分野の高度な知識・技術を修得し、理論・分析・評価力を持ち専門性の高い看護実践ができる。
- ・グローバルな視点を持ち、国内外の研究成果を取り入れ、看護実践・研究・教育に貢献できる。
- ・ケアの質向上のためにシステムを評価し、解決に向けて多職種と連携・協働し、環境を調整できる。
- ・専門分野の課題を洞察し、適切な方法を選択し成果をまとめる基礎的研究能力を身につけている。

カリキュラム・ポリシー

- ・専門性の異なる院生の共通の学修の場をととして、研究や実践の基礎となる理論や学問を学び、総合的な視野をもった実践の基礎的能力を修得するために、両専攻共通科目を配置した。
- ・高度専門職としての看護の実践と研究、教育を推進できる基礎的能力を養うために、看護理論、看護倫理、看護研究、看護教育、看護管理などの専門共通科目を配置した。
- ・高度専門職としての専門基礎となる知識・技術を修得するために、広範囲な学問領域にわたり必要な科目を専門基礎科目として配置した。
- ・専門領域における高度な看護実践や研究に必要な能力を養うことを目的に各専門領域に特論、演習科目を配置し、看護実践やエビデンスを追求し、学修を深める。
- ・高度専門職として看護の責務を遂行するために、自己の課題を見出し、主体的・継続的に学び、科学的に探究する研究の基礎的能力を修得するために、特別研究を行う。

基礎看護学コース

実践の科学である看護学を看護の基本概念から捉え直し、看護とは何か、看護実践とは何かを明確にすることを目指します。看護の臨床現場や看護学生・新人看護師を育成する臨床教育の場に埋め込まれている看護現象の省察を通して、看護の本質に触れながら、看護の対象者の理解、質の高い看護実践および看護技術の探求、実践知への理解を学びます。修士論文では、看護実践の中に立ち現れる様々な疑問、戸惑いなどについて、個々の関心に応じた探究を行います。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込み可)。
※長期履修学生制度の利用ができます。

成人看護学コース

社会の変化や医療技術の進歩を背景に、急性期、危機的状況、慢性期、終末期など様々な健康問題を持つ人々が増えています。そのような人々には専門的な看護が必要とされており、そのニーズに応えるべく、各々の健康問題を持つ成人期にある人々とその家族を対象とするのが成人看護学領域です。個々の健康問題に有効な看護実践を行うための諸理論・概念と看護介入モデルを学びます。臨床での疑問を大切に、ゼミやフィールドワークを通して、理論やモデルなどの看護実践での適用を実践的に学び、個々の関心に応じた研究テーマを探究します。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込み可)。
※長期履修学生制度の利用ができます。

老年看護学コース

超高齢社会の日本では、社会保障制度や医療制度の改革等高齢者に関わる喫緊の諸問題がある中、住み慣れた地域でその人らしさを保ちながら人生の終焉を迎えることも課題であります。老年看護は医療機関、施設、地域(自宅)と幅広い場所で提供されることから、研究や実践も広い視野からの探求が求められます。当領域では、様々な生活の場で暮らす高齢者への看護のあり方について、国内外の研究文献のクリティークを行い、各自でテーマを絞って探究していきます。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込み可)。
※長期履修学生制度の利用ができます。

母性看護学コース

女性と母子、その家族の健康と安全、周産期のリスクの予防、正常性を維持・促進するための看護ケアを検討します。また、ハイリスクにある周産期の女性と母子、その家族がかかえる問題を統合的に捉え、対象者の経験や意思を尊重しながら、健康で安全なくらしにつながる個別的なケアを検討します。女性と母子、その家族をめぐる環境が多様に変化し、複雑化していく中で生じる新たな看護課題を捉え、対応していくための感性と科学的思考力、研究能力を養います。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込み可)。
※2023年度入学生については募集いたしません。

小児看護学コース

少子化が進む我が国において、核家族の増加や片親家族の増加、育児不安等、子どもが育つ環境がこれまで以上に変化し、虐待や子どもの貧困、子どもの心の病気など子どもの育ちの課題が増えている。小児看護領域では、子どもに視点をおき、子どもが健康に育つということ、子どもの自己決定や権利を中心に、医療機関、施設、在宅における看護を議論しながら、各自のテーマを探究していきます。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込み可)。
※長期履修学生制度の利用ができます。

精神看護学コース

こころの健康問題を持った人が困難な時期を乗り越え、その人らしさを取り戻して生活していくために、どのような支援ができるかを考えます。こころの健康問題は、家庭、学校、職場、そしてあらゆる生活の場で生じます。身体の問題に伴ってこころの問題が生じることもあります。私たちは、看護の立場からこの問題にどのように取り組むことができるでしょうか?自分が取り組む問題の焦点を明らかにし、適切な方法を選んで研究のプロセスをたどり、修士論文を完成します。取り組む問題は、実践、教育、研究いずれでも可能です。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込み可)。
※長期履修学生制度の利用ができます。

公衆衛生看護学コース

地域社会が大きく変化するのに伴って、新たな健康課題に対応できる人材、住民のニーズに基づき、かつ地域特性を生かした健康政策を推進できる行政能力を備えた人材を育成します。本コースは、公衆衛生看護における学識を深め、科学的思考力と研究能力を養い、豊かな人間性に裏付けられた高度な看護専門職業人として保健師をキャリアアップします。本コースに出願するには**看護師及び保健師の免許**が必要です(取得見込み可)。
※長期履修学生制度の利用ができます。

カリキュラム

区分		科目	
看護学・栄養管理学 両専攻共通科目		倫理学特論 人間関係論特論 研究方法論特論 統計学特論 疫学	地域ケアシステム論 健康行動科学特論 医療情報・医療経済 国際保健学特論 国際保健学特論演習
看護学専攻 共通基礎科目		看護理論特論 看護倫理特論 看護研究法I(量的研究) 看護研究法II(質的研究) 看護教育学特論I	看護教育学特論II 看護管理学特論 家族関係論特論 コンサルテーション論
専門基礎科目		病態生理学 臨床薬理学 保健医療福祉政策論 保健医療福祉行政論 疫学・保健統計特論	ヘルスカウンセリング論 代謝栄養学特論 環境保健学 健康社会学 医療人類学特論
専門分野 専門科目	基礎看護学コース	基礎看護学特論I 基礎看護学特論II	基礎看護学演習I 基礎看護学演習II
	成人看護学コース	成人看護学特論I 成人看護学特論II	成人看護学演習I 成人看護学演習II
	老年看護学コース	老年看護学特論I 老年看護学特論II	老年看護学演習I 老年看護学演習II
	母性看護学コース	母性看護学特論I 母性看護学特論II	母性看護学演習I 母性看護学演習II
	小児看護学コース	小児看護学特論I 小児看護学特論II	小児看護学演習I 小児看護学演習II
	精神看護学コース	精神看護学特論I 精神看護学特論II	精神看護学演習I 精神看護学演習II
	公衆衛生看護学コース	公衆衛生看護学特論I 公衆衛生看護学特論II	公衆衛生看護学演習I 公衆衛生看護学演習II
		特別看護研究	

〈修了要件〉30単位以上

本コースにおけるこれまでの論文テーマについては15ページをご覧ください。



修了生

看護学専攻
成人看護学コース 2022年3月修了
(天使大学看護栄養学部看護学科 卒業)

所属
天使大学看護栄養学部
看護学科

看護の奥深さを実感し意義のある毎日でした

大学卒業後がん専門病院で臨床経験を経て子育てをしながら実習指導教員として学生の指導を行っていました。この経験を活かし、がん看護や教育に関する学びをさらに深めたいと思い大学院の成人看護学コースへ進みました。

学業に専念することは学部生以来で、研究に関しても臨床で触れてはいたものの、ほぼゼロからのスタートでした。そのため、学んだことを自分のものにできるのか不安はありましたが、臨床で何気なく行っていた看護実践が理論に基づいていくと繋げることができたり、また、看護の研究論文にたくさん目を通すことが論文の構造を理解しながら読む訓練になると同時に、様々な視点から看護の研究が行われていることを知り、看護の奥深さを実感し興味を持って学ぶことができました。また、自身の研究を進めるうえで思いや意図を言語化することは、苦しい作業でもありましたが、指導教員の先生方から湧き出る言葉の数と本質をとらえる言葉の使い方はとても勉強になるものでした。大学院の2年間は大変意義のある毎日だったと実感しています。この学びを学生に還元し、今後も教員、研究者として力を伸ばしていきたいと思っています。

| 高度実践看護師コース |

高度実践看護師(専門看護師)教育機関

専門看護師(Certified Nurse Specialist)制度の目的と教育課程

専門看護師制度は、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して水準の高い看護ケアを効率よく提供するための、特定の専門看護分野の知識・技術を深めた専門看護師を社会に送り出すことにより、保健医療福祉の発展に貢献し併せて看護学の向上をはかることを目的としています。(日本看護協会HP参照)

専門看護師教育課程は、保健・医療・福祉現場において、複雑な健康問題を有する患者にケアとキアを統合し、卓越した直接ケアを提供するとともに、相談、調整、倫理調整、教育、研究を行い、ケアシステム全体を改善することで、看護実践を向上させる高度実践看護師を養成する教育課程です。(一般社団法人日本看護系大学協議会高度実践看護師教育課程認定規程参照)

多数の修了生が
「専門看護師」
として活躍しています。

これまでに看護学専攻ホスピス緩和ケア看護学コース修了生
19名が「がん看護専門看護師(CNS)」に認定されています。
主に札幌市内のがん診療連携拠点病院で活躍しています。
なお、老年看護CNSコースは2019年度、精神看護CNSコース
は2020年度に開設しました。

ディプロマ・ポリシー

- ・キリスト教的人間観に基づく全人的ケアを実践できる。
- ・各専門分野における倫理的配慮意思決定支援ができる。
- ・専門的なエビデンスに基づく実践・相談・教育ができる。
- ・高度なコミュニケーション能力に基づく多職種連携・調整することができる。
- ・組織変革・政策提言に必要な変化エージェントの役割意識を有している。
- ・基本的な研究能力を有し、課題研究を今後の実践に結び付けて説明できる。

カリキュラム・ポリシー

- ・共通科目A群は、看護の実践と研究・教育の基盤となる能力を養うために、看護理論特論、看護倫理特論、看護研究、看護教育特論、看護管理特論、コンサルテーション論を配置した。
- ・共通科目B群は、専門分野の実践の根拠となる基礎的知識の修得のために、基礎科目として、病態生理学、フィジカルアセスメント、臨床薬理学を配置した。
- ・専門分野の専門科目は、専門分野の基礎科目、専門科目における高度な知識・技術・態度を修得し、実践において統合するために専門領域の臨地実習を行う。
- ・課題研究は、専門領域特有の課題を研究し、学位論文としてまとめる科目である。

ホスピス緩和ケア看護学コース

〈取得可能資格〉がん看護専門看護師

学士課程で展開した看護学教育を基礎としながら、ホスピス緩和ケア分野で高度実践看護師を養成します。「高度実践看護師」とは、高度な実践・相談・教育・調整・協働・コミュニケーション・倫理的判断・研究を行う能力を持ち、チーム医療の核となって包括的なケアをマネジメントし、その専門領域においてリーダーの役割を果たす看護師の事です。本コースに出願するためには、**看護師免許を有し、3年以上の看護実務経験**が必要です。

※長期履修学生制度の利用ができます。

老年看護CNSコース

〈取得可能資格〉老人看護専門看護師

超高齢社会の中で、保健医療福祉の場における高齢者への質の高いケアの提供をしていくためには、高度な看護を実践できる看護師の育成が不可欠です。本コースは複雑な健康問題を抱える高齢者に対して、ケアとキュアを統合した看護実践能力を提供する高度実践看護師を養成する教育課程です。ここでは専門看護師として必要な実践は勿論ですが、教育、相談、調整、研究、倫理について学んでいきます。本コースに出願するには、**看護師免許を有し、3年以上の看護実務経験**が必要です。

※長期履修学生制度の利用ができます。

精神看護CNSコース

〈取得可能資格〉精神看護専門看護師

保健・医療・福祉現場で必要とされる看護について、精神看護の観点から、心身両面に関する知識と技術を教授します。複雑な健康問題を有する患者にケアとキュアを統合し、卓越した直接ケアを提供するとともに、相談、調整、倫理調整、教育、研究を行い、ケアシステム全体を改善することで、看護実践を向上させる高度実践看護師を養成します。本コースに出願するには、**看護師免許を有し、3年以上の看護実務経験**が必要です。

※長期履修学生制度の利用ができます。

がん看護専門看護師として活動する修了生



緩和ケアチームの看護師として勤務しています。症状緩和に関する薬剤調整や精神的苦痛への介入などの依頼に対して、速やかに対応が図れるようチーム内・多職種間の調整を行っています。

社会医療法人 禎心会 札幌禎心会病院



がんとともに生きる方々の症状マネジメントの重要性を意識し活動しています。リンパ浮腫はボディイメージの変容や就労などにも影響があり、チームで予防・教育的な支援、発症後のケアを実施しています。

社会医療法人 社団 カレスサッポロ 時計台記念病院・クリニック

在宅ホスピス専門の診療所に在籍し、地域の訪問看護師さんの訪問に同行するなど、連携の強化とケアの質向上に取り組んでいます。また緩和ケア外来を訪れる患者さんの療養について医師・MSWと協働して支援しています。



医療法人 徳洲会 在宅緩和ケア診療所 ホームケアクリニック 札幌

※MSW 医療ソーシャルワーカー

カリキュラム

区分		科目	
看護学・栄養管理学 両専攻共通科目		倫理学特論 人間関係論特論 研究方法論特論 統計学特論 疫学	地域ケアシステム論 健康行動科学特論 医療情報・医療経済 国際保健学特論 国際保健学特論演習
		看護理論特論 看護倫理特論 看護研究法I(量的研究) 看護研究法II(質的研究) 看護教育学特論I	看護教育学特論II 看護管理学特論 家族関係論特論 コンサルテーション論
看護学専攻 共通基礎科目		フィジカルアセスメント 病態生理学 臨床薬理学 保健医療福祉政策論 ヘルスカウンセリング論	代謝栄養学特論 環境保健学 健康社会学 医療人類学特論
		ホスピス緩和ケア看護学特論I ホスピス緩和ケア看護学特論II ホスピス緩和ケア看護学特論III ホスピス緩和ケア看護学特論IV ホスピス緩和ケア看護学特論V ホスピス緩和ケア看護学演習I	ホスピス緩和ケア看護学演習II ホスピス緩和ケア看護学演習III ホスピス緩和ケア看護学実習I ホスピス緩和ケア看護学実習II ホスピス緩和ケア看護学実習III
ホスピス緩和ケア 看護学コース	専門分野 専門科目		ホスピス緩和ケア看護課題研究
老年看護CNSコース	専門分野 専門科目	老年看護学特論I(理論・概念) 老年看護学特論II(健康生活評価) 老年看護学特論III 老年看護学特論IV 老年看護学特論V	老年看護学展開論I 老年看護学展開論II 老年看護学実習I 老年看護学実習II
			老年看護課題研究
精神看護CNSコース	専門分野 専門科目	精神看護学特論I 精神看護学特論II 精神看護学特論III 精神看護学特論IV 精神看護学演習I 精神看護学演習II	リエゾン精神看護学特論 高度実践精神看護実習I 高度実践精神看護実習II 高度実践精神看護実習III 高度実践精神看護実習IV 高度実践精神看護実習V
			精神看護課題研究

〈修了要件〉必修科目38単位

本コースを修了することにより、日本看護協会が行う認定審査の受験資格を得ることができます。

本コースにおけるこれまでの論文テーマについては15ページをご覧ください。